

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 相手の気持ちがわかる子供に育ててほしい
- 地域に誇りをもってほしい

【学 校 教 育 目 標】

21世紀に生きる望ましい人間像をめざし、一人ひとりの子どもの主体性・創造性を養い、心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性のある子どもの育成

【めざす児童像】

—たくましい子、やさしい子、考える子—

前年度の学校評価

- 学校の学力向上への取組が目に見えてよくわかるが、学習習慣等改善の余地有
- 先生との関係性・距離感がよい。
- 地域での体験活動や出前授業は教科書で学べない学びを得られている。

児童（生徒）の実態

- あいさつができる
- 時間を守って行動できる
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い
- 家庭学習の定着率が低い

重点目標

開かれた学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

たくましく健やかな体

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

大きく豊かな心

- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎インクルーシブ教育の普及
- 道徳・人権教育の充実

確かな学力

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

具体的な取組

- ◆各種便り、HP等を通して学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- ◆地域の学習を通し、地域に誇りを持たせる。
- ◆中学校区での幼小、小中の連携を推進・充実する
- ◆共育やコミスクを通して、地域の方々をゲストティーチャーとして招くよう努める。

- ◆「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。
- ◆「わんわん貯金」を活用し、生活習慣の見直しを図る。
- ◆体力づくりを一層促進し、記録会や大会に参加して体力の向上を図る。
- ◆性教育を一層推進する。
- ◆避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。

- ◆道徳科においても、本校の研究テーマを意識した授業展開を行う。
- ◆OUを軸として、いじめアンケート等を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・対応に努める
- ◆ふらわあ学級の交流をさらに活性化させる。
- ◆児童会活動、集会活動、学校行事等でペア活動など子供同士が関わる機会を増やす

- ◆学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図る。
- ◆「貴志南スタンダード」を徹底した授業を行う。
- ◆保護者と協力し「家庭学習の手引き」が活用される手立てを講じる。
- ◆読み聞かせ、家庭読書、親子読書を推進する。
- ◆自学ノートをより効果的に活用するよう研究する。

指標

- ・学校の様子がよく伝わった【HP閲覧数1年間に10000回】
- ・地域学習を学年に応じて1回は行う【教師100%】

- ・朝ごはんを食べた【児童95%】
※H28..85.6%、H29..89.1%
(わんわん貯金)
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した【教師90%】

- ・「わたしは学校が楽しい」【児童90%】
- ・「命の大切さや社会の決まりについて教えてもらっている」【児童90%】
※上記2点は評価アンケート
- ・OUの学校生活満足群【85%】

- ・県学習到達度調査で後半問題の無答率の改善【前年度比5%↓】
- ・「学校での勉強がわかる」【評価アンケート児童80%】

◎：特に重点的に取り組むこと
【】：目標数値